

第 5 次菰野町総合計画・前期基本計画の見直し視点

項目名		1-1-1 みんなで守る防災のまちづくり													
社会 経済 情勢等	○東日本大震災の発生														
	○中央防災会議による南海トラフ被害想定公表														
	○災害対策基本法の改正														
	○局地的な短時間強雨の頻発														
	○短時間強雨等の異常気象に対する観測精度の向上														
前期計画の 主な実績	1111◆地域防災活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民を交えた水防訓練、菰野町民総ぐるみ防災訓練の実施〔総〕 ● 防災リーダー研修の実施〔総〕 ● 自警団、婦人消防隊への補助金の交付〔総〕 ● 自主防災組織防災資機材整備事業補助金の交付〔総〕 													
	1112◆災害時の連携・応援体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災行政無線老朽化に伴うFM放送を利用した設備の整備〔総〕 ● 大規模災害に備えた各種協定の締結〔総〕 													
	1113◆災害時の避難体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急避難所及び収容避難所の看板書換えの実施〔総〕 ● 避難所用資材及び備蓄品の補充等の実施〔総〕 ● 災害時相互応援等にかかる通信訓練の実施〔総〕 ● 災害時に自力での避難が困難な要援護者名簿を作成し、地域の支援者へ提供〔健〕 													
	1114◆災害に強いまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 小・中学校施設の天井等落下防止対策〔教〕 ● 郷土資料館跡地に耐震性貯水槽を設置した公園の整備〔総〕 ● 浸水被害多発地域の雨水排水対策工事を実施〔下〕 ● 「ため池ハザードマップ」の作成〔観〕 ● 基幹管路の更新を兼ねた耐震化、及び配水池補強工事の実施〔水〕 ● 木造住宅耐震補強補助事業の実施〔都〕 													
	1115◆治山・治水対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 県と連携し、毎年度、落石危険箇所など調査し、危険箇所については県において防護ネット等の対応を実施〔観〕 													
アンケート調査結果	<table border="1"> <caption>アンケート調査結果 (1-1-1)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.06</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.13</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.20</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.23</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.27</td> </tr> </tbody> </table>			年度	評価	H23	3.06	H24	3.13	H25	3.20	H26	3.23	H27	3.27
年度	評価														
H23	3.06														
H24	3.13														
H25	3.20														
H26	3.23														
H27	3.27														
見直し視点	<p>■ 県において土砂災害防止法基礎調査が進められており、町内においても順次、区域指定されていくことになるため、ソフト面、ハード面の対策をしていかなければならない。特に、短時間強雨についての観測精度が高まっていることから、避難準備情報等を周知し、避難行動に結びつける方法について具体的な検討が求められる。</p>														

項目名		1-1-2 消防・救急体制の強化													
社会経済情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化に伴う消防団の人材難 ○常備消防の広域化の検討 ○社会福祉施設の消防用設備等にかかわる消防法施行令等の改正 														
	前期計画の主な実績	1121◆火災予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●防火対象物への指導(立入検査、防火管理者講習会の開催等)[消] ●危険物施設への指導(立入検査、タンクローリーへの路上検査)[消] ●住宅防火対策(住宅用火災警報器の設置推進説明会、広報等)[消] 												
		1122◆消防体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●消防体制の組織強化(人員条例定数の増員)[消] ●常備消防車両の更新[消] ●消防広域化について研究を実施[消] ●消防団の処遇改善及び、資機材等の整備[消] ●消火栓を中心とした消防水利の拡充[消] ●耐震性貯水槽の設置[消] 												
		1123◆救命率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●救命講習会の実施[消] ●AEDの設置促進[消] ●救急業務の高度化(新規救急救命士の養成等)[消] ●救急車適正利用の啓発[消] 												
		1124◆通信指令体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●位置情報通知システム(統合型)設置工事[消] ●消防救急デジタル無線(共通波)整備工事[消] ●新消防指令センター(活動波基地局及び指令システム)整備工事[消] ●中央分署消防指令センター整備工事[消] 												
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">1-1-2</div> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.54</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.49</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.54</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.50</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.56</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	評価	H23	3.54	H24	3.49	H25	3.54	H26	3.50	H27	3.56
	年度	評価													
H23	3.54														
H24	3.49														
H25	3.54														
H26	3.50														
H27	3.56														
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■社会福祉施設など、社会的影響のある火災が多く発生したことにともない法改正があったことから、改正法に合わせた消防用設備の設置を、立入検査を含めて積極的に指導していかなければいけない。 ■新名神高速道路の開通等、救急・消防需要の増加要素を踏まえ、人員面及び施設設備面を計画的に増強していく必要がある。 ■消防広域連携に関しては、平成28年度から通信指令業務の共同運用が開始され相互応援連携の迅速化が図られるが、菰野町としての将来を見据えた場合、さらなる総合的な消防力の強化のため、今後も消防広域化の研究を継続することが求められる。 														

項目名		1-1-3 交通安全対策の推進													
社会経済情勢等	<p>○高齢者が関与する事故の増加</p> <p>○道路交通法の改正(違反を繰り返す自転車運転者に「安全講習」を義務付け)</p>														
	前期計画の主な実績	1131◆交通安全意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ● 通学用安全帽、通学用ヘルメットの配付〔総〕 ● 四日市西地区交通安全協会と共に交通安全街頭指導の実施〔総〕 ● 交通安全指導員による保育園・幼稚園での交通安全啓発活動〔総〕 ● 1歳6か月児健診におけるチャイルドシートの着用及び事故防止意識の啓発〔子〕 ● 小・中学校における交通安全教室等の実施〔教〕 ● 交通安全青年部による交通安全啓発活動〔総〕 												
		1132◆交通安全環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係機関、地元区などと慎重に協議し、適宜、カーブミラー・ガードレール・防護柵の設置や区画線の施工等を実施〔都〕 ● 町内危険箇所にある回転灯の維持管理〔総〕 ● 交通安全啓発看板等の設置〔総〕 ● 通学路緊急合同点検の実施〔教〕 												
アンケート調査結果	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">1-1-3</div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>2.84</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>2.82</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2.95</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2.91</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2.94</td> </tr> </tbody> </table>			年度	値	H23	2.84	H24	2.82	H25	2.95	H26	2.91	H27	2.94
年度	値														
H23	2.84														
H24	2.82														
H25	2.95														
H26	2.91														
H27	2.94														
見直し視点	<p>■ 新名神高速道路の開通や国道 477 号バイパスの開通により、町内の交通事情が急激に変化するものと考えられる。従来であれば事故が少なかった場所でも裏道として使われるなどして事故が発生する可能性もあるため、各区長やPTAとの連携を高め、必要に応じて信号機等の設置も含めて交通安全対策を進めていく必要がある。</p> <p>■ 依然として高齢者が関係する交通事故等が多いことから、交通安全シルバーリーダー等との連携を図り、更なる交通安全啓発が求められる。</p> <p>■ 道路交通法改正に伴い、自転車の交通ルール・マナーの向上が求められていることから、啓発活動や街頭指導の更なる強化や、自転車通学を行う中学校等への交通安全啓発・教育を実施していく必要がある。</p>														

項目名		1-1-4 みんなで取り組む防犯対策の推進													
社会経済情勢等	○振り込め詐欺等、高齢者に対する犯罪の増加														
前期計画の主な実績	1141◆防犯意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災ラジオ、行政情報メール、ホームページ、SNS 等による町内で発生した犯罪や防犯、不審者情報の情報発信〔総〕 ● 絆ネットの保護者への配信〔教〕 													
	1142◆地域防犯活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 四日市西地区防犯協会の実施する広報啓発活動への参加〔総〕 ● 防犯委員会による啓発物品の配布〔総〕 ● 地区防犯協力会と連携し、年末の防犯パトロールの実施〔総〕 													
	1143◆防犯環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 各区からの要望に伴う集落内への防犯灯の設置〔総〕 ● 集落間や通学路への防犯灯の設置〔総〕 ● 町内の防犯灯のLED化〔総〕 													
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">1-1-4</div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果 (1-1-4)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.29</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.20</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.17</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.19</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.26</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	スコア	H23	3.29	H24	3.20	H25	3.17	H26	3.19	H27	3.26
年度	スコア														
H23	3.29														
H24	3.20														
H25	3.17														
H26	3.19														
H27	3.26														
見直し視点	<p>■振り込め詐欺等、高齢者に対する犯罪が増えていることから、手口の情報提供などの未然防止策を講じることが必要である。</p>														

項目名		1-1-5 消費者保護対策の推進													
社会経済情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○電子商取引(パソコン、スマホ)の普及 ○後を絶たない産地偽装等の問題 														
	前期計画の主な実績	1151◆消費者意識の高揚と消費者団体の育成支援	<ul style="list-style-type: none"> ●国、県から提供される消費生活に関する情報の周知〔観〕 ●消費者問題に取り組む「消費生活くらしの会」の活動の支援〔観〕 												
	1152◆消費生活相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●相談窓口の設置、住民からの相談や苦情などへの対応〔観〕 													
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 10px;">1-1-5</div> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <caption>アンケート調査結果 (1-1-5)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.13</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.12</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.09</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.12</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	スコア	H23	3.13	H24	3.10	H25	3.12	H26	3.09	H27	3.12
年度	スコア														
H23	3.13														
H24	3.10														
H25	3.12														
H26	3.09														
H27	3.12														
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■電子商取引の普及に伴い、消費者トラブルも発生していることから、トラブルの未然防止につながる情報提供を行う必要がある。 														

項目名		2-1-1 子育て、子育てをみんなで支える環境づくり													
社会経済情勢等	○少子化(合計特殊出生率の低迷)への対応			○子ども・子育て支援新制度の開始(関連法の施行)											
	○共働き家庭の増加			○健やか親子 21(第二次)の施行											
	○保育サービスを担う人材の不足														
	○顕在化する子ども虐待への対応														
	○子どもの貧困問題への対応(子どもの貧困対策の推進に関する法律の施行)														
前期計画の主な実績	2111◆子どもの育ちを支える地域社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 男性の育児参加に向けた取組〔子〕 ● ハローワークとともにマザーズコーナーや一時保育の紹介を実施〔子〕 ● 放課後子ども教室の実施〔教〕 													
	2112◆相談、支援と情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 相談支援(ぐんぐん広場)及び子育て支援センター事業〔子〕 ● ひとり親家庭への支援〔子〕 													
	2113◆保育サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 一体化幼保園の設置、菰野幼稚園内に菰野東保育園を設置〔子〕 ● 全保育園での0歳児保育、及び拠点園での延長保育の実施〔子〕 ● 少人数の学童含め、すべての学童に対する支援〔子〕 													
	2114◆母子保健の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 母子保健の充実〔子〕 ● 食育の推進〔子〕 													
	2115◆保護が必要な子どもへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 要保護児童対策事業(児童虐待防止講演会等)〔子〕 ● 途切れのない支援事業(発達相談、発達巡回相談、言語巡回相談、療育教室、発達支援教室など)〔子〕 ● 発達支援の指導専門職(保健師)、及び主任保育士の配置〔子〕 ● 幼保小中連携の実施〔教〕 													
アンケート調査結果	2-1-1	<table border="1"> <caption>アンケート調査結果 (2-1-1)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.49</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.45</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.42</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.43</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.40</td> </tr> </tbody> </table>		年度	評価	H23	3.49	H24	3.45	H25	3.42	H26	3.43	H27	3.40
年度	評価														
H23	3.49														
H24	3.45														
H25	3.42														
H26	3.43														
H27	3.40														
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子ども・子育て支援新制度により、町民要望に対応したきめ細かな保育・教育が求められるため、土曜保育の実施、幼稚園における一時預かり事業の実施なども含め、幼保一体のメリットを活かしながら、人員の配置、施設の整備を適切に行っていかなければならない。 ■ 子どもを持つ家庭だけでなく、地域全体の子育て力の向上に向けて、子育て支援センターの機能充実とともに、地域に根ざした活動が求められている。 ■ 子育て支援拠点については中学校区単位での整備が望ましいとされており、現在実施している「けやき」のほかに、町北部地域に療育の拠点の設置を検討することが求められる。 ■ 児童虐待については、全国的にも事案が後を絶たないことから、本町においても、関係機関との連携を強化することによって、虐待防止のための早期発見と早期対応を図ることが重要である。 														

項目名		2-2-1 健康を支えあう地域づくり													
社会 経済 情勢 等	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症(風疹やデング熱等)の流行に対する懸念 ○在宅医療へのニーズの高まり ○健康日本21(第二次)の施行 														
	前期 計画 の 主な 実績	2211◆健康づくりを支援するしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●がん検診(胃、肺、大腸、乳、子宮)及び骨粗しょう症検診、30代健診、肝炎ウイルス検診の実施〔健〕 ●要精密検査対象者への受診勧奨、病態別重点健康相談の実施〔健〕 ●未受診者を対象として休日に集団健診や健康相談を実施〔健〕 												
		2212◆健康づくり予防対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●インフルエンザ予防接種、高齢者肺炎球菌ワクチン接種の実施〔健〕 ●地域密着型データヘルス推進事業(特定健診結果の分析を行い、その健康課題の分析を各種団体や町民に情報発信)〔健〕 ●エイズ、薬物乱用などに対する正しい知識の普及・啓発〔健〕 ●運動教室、健康てくてくウォーキング教室の実施、及び菰野、鶴川原、千種地区においてウォーキングマップの作成〔健〕 ●三重県保健環境研究所と協働したラドン濃度の調査〔健〕 												
		2213◆健康づくりの推進体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ●食育推進サポーター「まめまめ」と連携した地産地消の取組〔健〕 ●元気アップこもとの連携した地区巡回型運動教室などの実施〔健〕 ●菰野町医療保健協議会との協働による感染症などの講演会〔健〕 ●自殺対策としてメンタルパートナーの養成〔健〕 												
2214◆地域医療の環境づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●救急医療情報システム(医療ネットみえ)等による情報提供〔健〕 ●かかりつけ医を持つことに関する情報提供〔健〕 ●救急医療体制運営費の一部助成〔健〕 													
アンケート 調査 結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">2-2-1</div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果 (2-2-1)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.77</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.71</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.67</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.72</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.68</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	評価	H23	3.77	H24	3.71	H25	3.67	H26	3.72	H27	3.68
年度	評価														
H23	3.77														
H24	3.71														
H25	3.67														
H26	3.72														
H27	3.68														
見直し 視点	<ul style="list-style-type: none"> ■高い健(検)診受診率を維持し、医療費抑制につながる保健予防、健康づくりを進める必要がある。 ■健診結果情報と医療情報とを連結・分析し、課題を整理することにより、協会けんぽ三重支部と協働した町内事業所(産業保健)への健康づくり事業を展開していくことが求められる。 ■菰野町の自然を生かした森林セラピー効果を検証するとともに、菰野町の薬草植物等を使ったレシピの開発など、地域資源を活用し、観光とも連動した健康づくり事業を検討していくことが求められる。 ■在宅医療は、菰野厚生病院等の中核的な医療機関や医師会との連携が必要であり、介護保険事業計画の推進を通じて、「地域包括ケアシステム」のあり方を検討していくことが求められる。 ■救急医療については、県が策定する「地域医療構想」によっては、ベット数の削減も視野に入ることになり、医師確保が今まで以上に困難になることから、サービス低下を招くおそれがある。 														

項目名		2-2-2 みんなで支える福祉のまちづくり													
社会経済情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○「互助」による見守り・生活支援サービス ○災害時避難行動要援護者への対応 ○災害対策基本法の改正 														
	前期計画の主な実績	2221◆地域福祉活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉大会を開催し、功績のあった社会福祉関係者を表彰〔健〕 ●社会福祉協議会等への助成(民生委員・児童委員、ボランティア連絡協議会など様々な形態のネットワークの活用)〔健〕 ●各種相談活動やふれあい弁当の配食などを行う「ふれあいまちづくり事業」への補助〔健〕 ●社会福祉協議会との連携による福祉学習の実施〔教〕 												
		2222◆緊急時対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時に自力での避難が困難な要援護者名簿を作成し、地域の支援者へ提供〔健〕 ●障がい者のための災害時避難ガイドブックの作成〔健〕 												
2223◆権利擁護の推進		<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉協議会による権利擁護事業への補助〔健〕 ●保険・医療・介護・福祉等の総合的な相談窓口として社会福祉士や保健師等の専門職を配置〔健〕 													
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">2-2-2</div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果 (2-2-2)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.57</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.51</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.47</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.44</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.39</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	満足度	H23	3.57	H24	3.51	H25	3.47	H26	3.44	H27	3.39
年度	満足度														
H23	3.57														
H24	3.51														
H25	3.47														
H26	3.44														
H27	3.39														
見直し視点	<p>■満足度がやや低下傾向にあることは、高齢化やひとり暮らし世帯の増加が進むなか、老後の不安や社会保障に対する不安などが根底にあると考えられることから、制度面での下支えはもちろん、身近な住民同士による支え合いのしくみを実感してもらえるような取組が求められる。</p>														

項目名		2-2-3 高齢者が活動できる環境づくり													
社会経済情勢等	○2025年問題(団塊の世代が後期高齢者に)への対応														
	○要支援・要介護認定者数の増加														
	○介護サービスを担う人材の不足														
	○介護保険制度の改正														
前期計画の主な実績	○地域包括ケアシステム(医療介護連携、認知症対策、生活支援サービスの提供等)の具現化														
	2231◆生きがい対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●運動教室、健康づくりや研修の実施〔健〕 ●敬老会助成や老人クラブ育成助成〔健〕 ●高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーション活動の推進の場として「やすらぎ荘」の運営〔健〕 ●各地区老人学級、かもしかライフカレッジの開催〔教〕 ●ジャスミン高齢者振興基金事業の活用(大羽根園 松寿会)〔教〕 													
	2232◆就労機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●ことぶき人材センター事業への助成〔健〕 													
	2233◆包括的な支援、サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●在宅生活継続への支援を行う趣旨において、介護予防事業、包括的支援事業(地域包括支援センター運営)、及び任意事業を実施〔健〕 ●ひとり暮らし高齢者等で在宅生活が困難な方への支援として、入所措置事業の助成〔健〕 													
2234◆認知症高齢者対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症サポーター養成講座、認知症キャラバンメイト養成、認知症家族の集いなどの事業の実施〔健〕 ●徘徊等認知症高齢者 SOS ネットワーク事業〔健〕 														
アンケート調査結果	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">2-2-3/4</div> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>アンケート調査結果 (2-2-3/4)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.33</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.25</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.25</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.27</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.20</td> </tr> </tbody> </table>			年度	評価	H23	3.33	H24	3.25	H25	3.25	H26	3.27	H27	3.20
年度	評価														
H23	3.33														
H24	3.25														
H25	3.25														
H26	3.27														
H27	3.20														
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ことぶき人材センター事業については、会員の増強を行い、ニーズに対応できる組織づくりとともに、運営の自立性を高めていくことが求められる。 ■ひとり暮らし高齢者や高齢世帯が増加しており、地域で孤立しがちな高齢者、手助けが必要な高齢者の日常生活を支えるためには、公的な施策だけではなく、地域の社会資源を活かして、高齢者を取り巻く様々な課題を解決していくという「地域包括ケアシステム」を構築していくことが求められる。 ■質の高い介護サービスを安定的に提供していくためには、不足している介護人材の安定的な確保、資質の向上などに対する取組を検討していくことが求められる。 ■認知症高齢者は確実に増加していることから、認知症の人や家族を医療機関や介護施設または各サービスへつなげるよう認知症の相談窓口を設置するとともに、認知症初期集中チームを設置し、本人やその家族一人ひとりに合った支援を行うことが求められる。 														

項目名		2-2-4 障害者が自立し、安心して暮らせる環境づくり													
社会経済情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○発達障がいの増加 ○障害者基本法の改正 ○障害者総合支援法の施行(自立支援法の改正) ○障害者優先調達推進法の施行 ○障害者虐待防止法、障害者差別解消法の施行 														
	前期計画の主な実績	2241◆早期発見とリハビリテーション対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定健診や 30 代健診の結果に基づく情報提供〔健〕 ● 個別健康相談、個別健康教室、健康づくり教室の実施〔健〕 												
		2242◆生活支援サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 居宅介護・同行援護・療養介護・生活介護・短期入所施設入所支援等の各種サービスの実施〔健〕 ● 障害者サービス等利用計画の作成〔健〕 ● 障がい種別に応じた相談窓口の設置(圏域事業所 5 か所)〔健〕 ● 障がい者虐待防止センターの開設〔健〕 ● 日中一時支援などの地域生活支援事業の実施〔健〕 												
		2243◆障害者の就労の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 自立訓練・就労移行・就労訓練等の就労に対する訓練の実施〔健〕 ● ハローワークや四日市障害者就業・生活支援センター等の関係機関との連携強化による就労支援・就労定着に向けた支援の実施〔健〕 ● 障がい者の一般就労に向けて、就労系事業所に対して障がい者雇用についての意識付け、及び就労に繋げる訓練の実施〔健〕 												
2244◆生きがい活動の促進		<ul style="list-style-type: none"> ● 身体障害者福祉会・社会福祉協議会・各種ボランティア団体など共同であわせキャンプ・日帰り旅行・リクリエーション等の開催〔健〕 ● 三重県ふれあいスポレク祭にボランティアスタッフとして参加〔教〕 													
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">2-2-3/4</div> <table border="1" style="margin-left: 10px;"> <caption>アンケート調査結果 (2-2-3/4)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.33</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.25</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.25</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.27</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.20</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	スコア	H23	3.33	H24	3.25	H25	3.25	H26	3.27	H27	3.20
年度	スコア														
H23	3.33														
H24	3.25														
H25	3.25														
H26	3.27														
H27	3.20														
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 障害者差別解消法、障害者虐待防止法などを受け、社会のさまざまな場面において合理的な配慮がなされ、差別や虐待を防ぐための取組が求められる。 ■ 施設入所・精神科病院長期入院からの地域移行に向け四日市障害福祉圏域にて協議し、その中で不足している提供メニューの見直しを行い、安心した地域生活が送れるよう支援することが求められる。特に、身近な地域での生活を保障するため、地域生活支援拠点(各種相談・サービスのコーディネート・緊急時の受入等を集約できる拠点)の整備が求められる。 ■ 障がい者の一般就労への移行に向け四日市障害福祉圏域にて協議し、四日市障害者就業・生活支援センターやハローワークと連携して、各産業で障がい者雇用の推進に向け取り組むことが求められる。 ■ 東京パラリンピック、全国障害者スポーツ大会(三重県)を契機として、障がい者がスポーツに取り組む機会の充実とともに、障がいの有無にかかわらずともにスポーツに取り組む気運を高めることが求められる。 														

項目名		2-2-5 社会保障の充実													
社会経済情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化に伴う社会保障費の増加 ○医療崩壊問題(医療費抑制と医師不足) ○社会保障と税の一体改革の推進 ○マイナンバー制度の導入 ○生活困窮者自立支援法の施行 														
	前期計画の主な実績	2251◆生活自立への福祉支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 民生委員・児童委員の活動への助成〔健〕 ● 町社会福祉協議会や北勢福祉事務所などの関係機関と連携し、生活困窮者の生活の安定を図るための支援の実施〔健〕 												
		2252◆医療費等の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども医療費と名称変更し、入院のみ対象を中学生まで拡大〔住〕 ● 県の制度拡充にあわせて通院の対象を小学生まで拡大〔住〕 												
2253◆国民健康保険事業の適正な運営		<ul style="list-style-type: none"> ● 保険料率の改定〔住〕 													
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">2-2-5</div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>2.90</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.18</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.14</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.18</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	数値	H23	2.90	H24	3.18	H25	3.14	H26	3.15	H27	3.18
年度	数値														
H23	2.90														
H24	3.18														
H25	3.14														
H26	3.15														
H27	3.18														
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■生活困窮者自立支援法を受け、生活保護に至るまでの段階での自立支援対策を行うための事業が福祉事務所において実施されることとなったことから、社会福祉協議会なども含め関係機関との連携をより一層深め、対応していくことが求められる。 ■社会保障の充実、特に医療費に関しては、給付対象者を拡大することで給付費を増加させるのではなく、医療費抑制につながる保健事業など健康増進事業を実施していくことが求められる。ま。 ■国民健康保険の制度改正により、平成 30 年度には運営主体が県になるが、安定的な運営のためには、生活習慣病対策などを行うことにより、被保険者の健康増進を図り、医療費を抑制することで、財政の健全化を図っていくことが求められる。 														

項目名		2-3-1 人権を尊重する社会づくり													
社会 経済 情勢等	○被災者やLGBTなど、多様化する人権問題 ○障害者差別解消法の施行														
	前期計画の 主な実績	2311◆人権教育、人権啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童生徒に対する人権教育の実施〔総〕 ● 人権に関する講演会の開催〔総〕 ● 各公民館で人権コンサートや人権講座を実施〔教〕 ● こどもの未来を考えるサークル“WithYou”との協力による講演や映画会の実施〔教〕 ● 公民館講座の開催〔教〕 ● 12月の人権週間、及びイベントでの啓発物品の配布〔総〕 ● 文化祭での人権ひろばの設置（パネル展示やぬり絵などによる啓発等）〔総〕 												
		2312◆人権相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権擁護委員による相談事業の実施〔総〕 ● 人権擁護委員のスキルアップ講座への参加、研修、視察等〔総〕 ● DVに関する周知・啓発等の実施〔子〕 ● DV相談や女性相談の実施〔子〕 												
アンケート調査結果	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">2-3-1</div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>調査結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.09</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.16</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.13</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.13</td> </tr> </tbody> </table>			年度	調査結果	H23	3.09	H24	3.15	H25	3.16	H26	3.13	H27	3.13
年度	調査結果														
H23	3.09														
H24	3.15														
H25	3.16														
H26	3.13														
H27	3.13														
見直し視点	<p>■ 多様化する人権問題に対応するため、町民への情報提供を充実させるとともに、関係する団体等との連携を強化することが求められる。</p>														

項目名		2-3-2 男女共同参画社会の形成													
社会経済情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○ワーク・ライフ・バランスの重視 ○女性の活躍促進と男性の家事・育児参加の促進 ○女性の貧困問題への対応 ○女性活躍推進法の施行 														
	前期計画の主な実績	2321◆男女共同参画に向けた意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ● 審議会・委員会等へ女性の登用推進を周知〔企〕 ● 男女共同参画推進会議(庁外)の開催〔企〕 ● 男女共同参画連携映画祭への参加〔企〕 ● 「子どもと作る男性スーツ教室」の開催〔企〕 												
	2322◆男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 役場内の女性職員の係長級への登用年度を順次引き下げ、管理職への登用を推進〔企〕 ● 日本女性会議に職員を参加させ、職場内研修の場で発表という形でフィードバック〔企〕 													
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2-3-2</div> </div> <table border="1" style="margin-left: 10px;"> <caption>アンケート調査結果 (2-3-2)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.21</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.23</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.18</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.17</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	スコア	H23	3.21	H24	3.23	H25	3.18	H26	3.10	H27	3.17
年度	スコア														
H23	3.21														
H24	3.23														
H25	3.18														
H26	3.10														
H27	3.17														
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第2次安倍内閣においては「女性活躍」及び「一億総活躍社会」が重視されており、特に女性が働きやすい環境づくりに対して力をいれるよう指針が示されていることから、周知を図るとともに、町としての取組を検討していくことが求められる。 ■ 「イクメン」という言葉が新聞紙上等で散見されるようになり、男性の家事・育児への参画気運が高まるなか、働き方の見直しなどのワーク・ライフ・バランスを視野に入れた「イクボス」が注目されるようになってきており、家庭や地域、事業所における気運の醸成が求められる。 														

項目名	2-3-3 多文化共生社会の形成													
社会経済情勢等	<p>○リーマンショック等に伴う外国人労働者の帰国</p> <p>○外国人登録制度の廃止</p>													
前期計画の主な実績	2331◆多文化理解教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●ALTによる多文化理解のための取組を実施〔企〕 ●国際交流事業を推進し、外国のゲームやレクリエーション等を通じた交流の実施〔教〕 												
	2332◆多文化共生の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●町ホームページの多言語翻訳(5か国語)機能の導入、暮らしの便利帳の多言語翻訳版の作成による情報提供の充実〔企〕 ●県主催の「多言語情報提供のための図上訓練」への参加〔企〕 												
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">2-3-3</div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果 (2-3-3)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.05</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.07</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.03</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.03</td> </tr> </tbody> </table> </div>		年度	スコア	H23	3.10	H24	3.05	H25	3.07	H26	3.03	H27	3.03
年度	スコア													
H23	3.10													
H24	3.05													
H25	3.07													
H26	3.03													
H27	3.03													
見直し視点	<p>■リーマンショック以降、集団就労の場を求めて一時的に日本にやってきた外国人住民は、一般的には景気の悪化に伴い減少がみられるが、菰野町においては必ずしも減少しておらず、ある程度地域に根付いて生活する人であると考えられるため、外国人住民の生活支援など、まちづくりやコミュニティづくりなどの面からどのようにかかわりをもたせるのが課題である。</p>													

項目名		3-1-1 潤いある景観の形成													
社会経済情勢等	○景観計画策定自治体、景観行政団体の増加														
前期計画の主な実績	3111◆水と緑のネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ● 街路樹の剪定等の実施〔都〕 ● 三滝川、朝明川の親水ゾーンの適正な管理〔都〕 ● 多面的機能支払交付金事業により、農業者だけでなく地域ぐるみで農地、水の環境保全に取り組む団体に対する助成〔観〕 													
	3112◆公園、緑地の整備と管理体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 各公園における年間を通じた適切な維持管理〔都〕 ● 各地区が公園整備を実施する場合に事業補助等を実施〔都〕 ● 県からの委託による東海自然歩道除草等維持管理事業の実施〔観〕 													
	3113◆地域の特性を活かした景観の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観計画策定自治体等の事例研究〔都〕 													
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">3-1-1</div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果 (3-1-1)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.09</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.12</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.08</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	評価	H23	3.10	H24	3.15	H25	3.09	H26	3.12	H27	3.08
年度	評価														
H23	3.10														
H24	3.15														
H25	3.09														
H26	3.12														
H27	3.08														
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鈴鹿国定公園は本町の貴重な資源であるが、その活用のための東海自然歩道については、平成 20 年度に発生したゲリラ豪雨により被害を受けたままであり、早急な復旧が求められる。 ■ 各地区の公園については、住民が主体となって適切に維持管理できるよう十分な協議を行い、多くの方々が安全で安心して利用できる環境づくりを行っていく必要がある。 ■ 景観法に基づく開発や屋外広告物に対する規制については、良好な景観を維持する上で重要であることから、今後とも引き続き、適切な指導等に努めなければならない。 														

項目名		3-1-2 人と環境にやさしい居住環境の創造													
前期計画の主な実績	社会経済情勢等	○地価の長期的な下落傾向 ○空き家の増加													
	3121◆人と環境にやさしい住宅の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●町営住宅マスタープランを見直し、公営住宅等長寿命化計画策定指針に基づき町営住宅の予防保全・活用方を策定〔都〕 ●町営住宅維持管理事業の実施〔都〕 ●在宅の重度障がい者に対する住宅改修費用の一部補助〔健〕 													
	3122◆ユニバーサルデザインのまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●専用の駐車スペースを設置し、対象者に利用証を交付し優先的に利用できる「おもいやり駐車場」事業を推進〔健〕 													
3123◆やすらぎのある斎場の運営	<ul style="list-style-type: none"> ●斎場火葬施設消耗による修繕（火炉台車耐火物補修、排気ファン修繕）〔環〕 ●葬祭会館供花施設の整備〔環〕 														
アンケート調査結果	3-1-2	<table border="1"> <caption>アンケート調査結果 (3-1-2)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.50</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.42</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.37</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.44</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.42</td> </tr> </tbody> </table>		年度	スコア	H23	3.50	H24	3.42	H25	3.37	H26	3.44	H27	3.42
年度	スコア														
H23	3.50														
H24	3.42														
H25	3.37														
H26	3.44														
H27	3.42														
見直し視点	<p>■公的住宅施策については、耐震性の低い住宅の取り壊しも進めつつ、既存の町営住宅ストックの活用による適正な管理戸数の確保を基本としながら、安全で快適な生活ができるような施策を検討していく必要がある。■特定空き家に対する対策が求められてくることから、空き家の状況を的確に把握し、活用できるものは活用するなど、有効な方策を取り入れていくことが求められる。</p>														

項目名		3-1-3 みんなで取り組む自然環境の保全と快適な生活環境の確保													
前期計画の主な実績	社会経済情勢等	○地球温暖化への関心の高まり ○生物多様性国家戦略・地域戦略の策定													
	3131◆環境教育、環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定外来生物の駆除にかかる取組〔環〕 ● 多面的機能支払交付金事業により、ホタル生息地の環境整備、ため池の池干し、タナゴの生息地調査など環境教育を実施〔観〕 ● 菰野富士ふるさとの山プロジェクトにおいて里山環境や生物多様性について学習機会を提供〔観〕 													
	3132◆参加と協働による環境美化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● クリーン大作戦の実施〔環〕 													
	3133◆自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境保全活動実施団体への事業助成〔環〕 ● 多面的機能支払交付金事業により、農業者だけでなく地域ぐるみで農地、水の環境保全に取り組む団体に対する助成〔観〕 													
	3134◆公害の予防と監視、指導の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場等の排水が公共用水域へ与える影響を確認するため、調整池や河川等の水質検査の実施〔環〕 ● 騒音測定、道路交通振動測定の実施〔環〕 													
	3135◆不法投棄の防止	<ul style="list-style-type: none"> ● 巡回コースを設定し定期的なパトロールを実施〔環〕 ● 不法投棄パトロール回収の実施〔環〕 ● 警告看板、ロープ等の設置を行い、不法投棄しにくい環境を維持〔環〕 													
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">3-1-3</div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果 (3-1-3)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.96</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.90</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.87</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.83</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.87</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	評価	H23	3.96	H24	3.90	H25	3.87	H26	3.83	H27	3.87
年度	評価														
H23	3.96														
H24	3.90														
H25	3.87														
H26	3.83														
H27	3.87														
見直し視点	<p>■生態系保全のため特定外来生物の駆除については関連団体との取組を進めているところであるが、近年、特定外来生物による生活被害の事案も増えてきており、適正な対処方法の周知を図る必要がある。</p>														

項目名		3-1-4 持続的な循環型社会の実現																			
社会経済情勢等	○福島第一原子力発電所の事故の影響 ○再生可能エネルギーの利用促進																				
前期計画の主な実績	3141◆資源、エネルギーの有効利用	<ul style="list-style-type: none"> ●太陽光発電設備設置整備補助による自然エネルギー設置促進のための啓発〔環〕 ●役場庁舎駐車場に電気自動車用充電設備を設置〔環〕 																			
	3142◆3R(発生抑制、再利用、再生利用)の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●分別収集の実施〔環〕 ●硬質プラスチックの分別回収にかかる検証〔環〕 ●一般廃棄物処理の推進〔環〕 																			
	3143◆廃棄物の適正処理	<ul style="list-style-type: none"> ●清掃センター施設の機能を把握する精密機能検査の実施〔環〕 																			
アンケート調査結果	<table border="1"> <caption>アンケート調査結果 (H23～H27)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>ごみの減量</th> <th>エネルギー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.66</td> <td>2.79</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.65</td> <td>2.81</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.65</td> <td>2.90</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.60</td> <td>2.94</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.61</td> <td>2.98</td> </tr> </tbody> </table>			年度	ごみの減量	エネルギー	H23	3.66	2.79	H24	3.65	2.81	H25	3.65	2.90	H26	3.60	2.94	H27	3.61	2.98
年度	ごみの減量	エネルギー																			
H23	3.66	2.79																			
H24	3.65	2.81																			
H25	3.65	2.90																			
H26	3.60	2.94																			
H27	3.61	2.98																			
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■東日本大震災後、政府の固定価格買取制度もあり太陽光発電が普及してきたが、引き続き再生可能エネルギーを普及するためには、新たな啓発事業を検討する必要がある。 ■3Rの推進のためには、現状の廃棄物状況を把握し、ごみの減量化・資源化を図るための具体的な個別施策や目標数値を設定し、長期的な視野にて効率的かつ効果的に取り組んでいく必要がある。 ■清掃センターにおける機器設備の老朽化とともに、ごみ質の多様化が進み高カロリー化することによって処理能力が低下している。処理能力を維持していくためには、これまで本格的な工事を行ってきていない主要設備に対する基幹的設備改良工事を行い、施設の延命化を図るとともに、ごみの発生抑制・再利用を進めていく必要がある。 																				

項目名	3-1-5 排水対策の推進													
社会経済情勢等	○社会資本の長寿命化対策													
前期計画の主な実績	3151 ◆ 汚水処理施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 三重県生活排水処理施設整備計画に基づく公共下水道の整備〔下〕 ● 合併処理浄化槽設置整備事業費補助による生活排水処理施設の整備促進〔環〕 ● 撤去費の上乗せ補助による単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進〔環〕 												
	3152 ◆ 汚水処理の普及推進と経営の健全化	<ul style="list-style-type: none"> ● 下水道使用料の改定による経営改善〔下〕 ● 未接続世帯・事業所への啓発〔下〕 ● 地方公営企業法の適用を受けるための準備作業の実施〔下〕 												
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 10px;">3-1-5</div> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>調査結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.50</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.48</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.44</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.41</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.49</td> </tr> </tbody> </table> </div>		年度	調査結果	H23	3.50	H24	3.48	H25	3.44	H26	3.41	H27	3.49
年度	調査結果													
H23	3.50													
H24	3.48													
H25	3.44													
H26	3.41													
H27	3.49													
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活排水処理施設整備については国において今後10年間で概ね整備を完了させていく旨の方針を打ち出しており、今後、下水道事業とともに処理施設整備について、整備区域や整備手法を精査し見直す必要がある。 ■ 最終的に下水道が整備されない区域においては必然的に合併処理浄化槽整備が必要となり、汲取り及び単独処理浄化槽を転換させていくための施策を検討する必要がある。 ■ 平成28年4月からの公営企業会計方式の導入に際し、経営状況の透明性を確保し、経費負担の原則にならない、事業の経営を行うことが求められる。 													

項目名		3-1-6 安全な水の安定供給													
前期計画の主な実績	社会経済情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○社会資本の長寿命化対策 ○水道施設のアセットマネジメントの必要性 													
	3161◆安定供給に向けた体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●第6次拡張事業による水道施設整備(切畑、根の平地内)[水] ●県営水道(長良川水系)の受水開始による安全な水道水の安定供給の実現[水] 													
	3162◆水道施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●管路更新を兼ねた耐震化工事の実施[水] ●耐震診断結果を受けた耐震工事施設の選定[水] 													
3163◆運営の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ●有収率の向上に向けた管路の修繕・更新工事[水] ●企業債の発行抑制による経営の健全化[水] 														
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">3-1-6</div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果 (3-1-6)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>4.13</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.96</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.95</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.93</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.99</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	値	H23	4.13	H24	3.96	H25	3.95	H26	3.93	H27	3.99
年度	値														
H23	4.13														
H24	3.96														
H25	3.95														
H26	3.93														
H27	3.99														
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■第6次拡張事業が平成28年度に完了予定であり、新たな上水道区域が確定されることから、企業庁と契約している三重用水、長良川の購入水を有効に活用できるように、給水区域の見直し等を行っていくことが必要である。 ■現有の水道施設が更新時期を迎えるにあたり、財政とのバランスを勘案しながら、今後5年間で経年管の更新や浄水場の耐震工事等を行い、引き続き安定的な給水の確保に努めることが必要である。 														

項目名		3-2-1 自然と調和した土地利用の推進												
社会経済情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○都市再生特別措置法等の改正(立地適正化＝コンパクトシティへの動き) ○農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律の施行 													
	前期計画の主な実績	3211◆秩序ある土地利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●菟野町都市マスタープランとの整合を図りながら、関係法令を所管する部署と協議・整理し土地利用を推進〔都〕 ●三重県と協議・整理しながら、土地利用に関する都市計画制度の活用推進〔都〕 ●農地法、農振法の適正運用による優良農地の確保〔観〕 ●農地・水保全管理支払交付金事業として町内各地区で制度説明会を開催〔観〕 											
		3212◆都市計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●関係法令との整合や関係部署との協議・調整を図りながら未利用地の活用を促進〔都〕 											
3213◆協働のまちづくりの推進		<ul style="list-style-type: none"> ●他の市町村における活動等についての情報収集〔都〕 												
アンケート調査結果	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">3-2-1</div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.00</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.08</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2.98</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.00</td> </tr> </tbody> </table>	年度	評価値	H23	3.00	H24	3.10	H25	3.08	H26	2.98	H27	3.00	
年度	評価値													
H23	3.00													
H24	3.10													
H25	3.08													
H26	2.98													
H27	3.00													
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■菟野 IC の設置に伴い、土地利用にかかる開発圧力が高まることから、秩序ある土地利用が効果的に進められるよう、土地利用方針に基づき、面的整備に向けた取組に着手することが求められる。 ■都市計画区域外の規制・誘導については、既存建築物に対し影響が大きいことから、引き続き方策について検討することが求められる。 ■地区における土地利用を図る場合や都市マスタープランの改定時などにおいて、地域まちづくり協議会の設立を働きかけていくことが求められる。 													

項目名		3-2-2 道路網の整備、充実													
社会経済情勢等	○新名神高速道路の供用、菟野インターの整備 ○社会資本の長寿命化対策														
	3221◆高規格道路の整備促進	●新名神高速道路事業、一般国道 477 号四日市湯の山道路事業の推進〔都〕													
	3222◆地域幹線道路の整備	●(仮称)菟野インターチェンジが整備されることにより、町道等のアクセス道路を順次整備〔都〕													
	3223◆生活幹線道路、生活道路の整備	●道路改良・整備工事、道路舗装新設工事等の実施〔都〕													
前期計画の主な実績	3224◆道路環境の維持、向上	●町道の適切な管理、及び危険箇所等への対応〔都〕 ●湯の山地区の景観に配慮した道路施設、街路灯などの整備〔観〕 ●芝桜の植栽など道路の路肩など活用した景観、美化整備の実施〔観〕													
	アンケート調査結果	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">3-2-2</div> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>アンケート調査結果 (3-2-2)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.14</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.23</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.18</td> </tr> </tbody> </table>		年度	評価	H23	3.10	H24	3.14	H25	3.15	H26	3.23	H27	3.18
		年度	評価												
		H23	3.10												
H24	3.14														
H25	3.15														
H26	3.23														
H27	3.18														
見直し視点	<p>■菟野 IC から町内各観光地への誘導標識の整備や景観整備に取り組む必要がある。</p> <p>■湯の山温泉地域整備可能性調査を行い、湯の山温泉地域の渋滞対策、災害発生時の避難路などの確保などを検討し、安全で安心して訪れることのできる地域づくりを進めることが求められる。</p>														

項目名		3-2-3 公共交通ネットワークの充実													
社会経済情勢等	○地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正														
前期計画の主な実績	3231◆公共交通の利便性向上	●コミュニティバスの運行委託及び見直し〔総〕													
	3232◆公共交通の環境整備	●菰野駅前広場整備(バスベイ)を実施し、景観に配慮した環境づくりを図るとともに駅周辺のバリアフリー化を推進〔都〕													
	3233◆公共交通の利用促進	●コミュニティバスの運行委託及び見直し〔総〕(再掲)													
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">3-2-3</div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果 (3-2-3)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>2.40</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>2.56</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2.47</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2.54</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2.52</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	評価	H23	2.40	H24	2.56	H25	2.47	H26	2.54	H27	2.52
年度	評価														
H23	2.40														
H24	2.56														
H25	2.47														
H26	2.54														
H27	2.52														
見直し視点	<p>■ 現行のコミュニティバスの路線及び時刻の見直しを平成 27 年 11 月から実施し、平成 28 年度を試行運行期間とすることから、運行状況等から平成 29 年度に再度協議をし、平成 30 年度からコミュニティバスを含む新たな地域公共交通を構築することが必要である。</p> <p>■ 菰野駅前広場の整備によって、朝夕における送迎車の渋滞が解消されつつある一方、駐輪場の不足等といった問題もあり、より使いやすい駅としていくことが求められる。</p>														

項目名		3-2-4 情報化の推進													
社会 経済 情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンの普及、SNS サービス等の普及 ○クラウドコンピューティングの一般化 ○情報セキュリティへの対応の必要性 ○マイナンバー制度の導入 														
	前期 計画の 主な 実績	3241◆地域情報化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● ソーシャルメディア広報の開始 (twitter、facebook) [企] ● 総合住民情報システム用として全支所にブロードバンド回線を敷設 [企] ● CTY との協定により災害時無料解放 Wifi スポットを各支所に設置 [企] 												
3242◆情報学習の充実		<ul style="list-style-type: none"> ● ICT 環境の充実 (小・中学校パソコン整備) [教] ● 安全・安心なネット使用についての講習の実施 [教] ● ソーシャルメディア講座 (公民館教室) の実施 [教] 													
アンケート 調査結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">3-2-4</div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果 (3-2-4)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.19</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.14</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.18</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.17</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.14</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	スコア	H23	3.19	H24	3.14	H25	3.18	H26	3.17	H27	3.14
年度	スコア														
H23	3.19														
H24	3.14														
H25	3.18														
H26	3.17														
H27	3.14														
見直し 視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会保障・税番号制度関係法の施行及び番号連携ネットワーク接続開始に伴い、支所業務の見直しが迫られる。また番号カードの普及を見越した住民サービスの検討が必要である。 ■ 菰野町は平成 24 年 5 月からソーシャルメディアにやさしい町を宣言しており、インターネットを活用する個人や団体が良質な情報をストレス無く受信・発信できる環境を整えていくことが求められる。 														

項目名		4-1-1 生きる力を育む学校教育の充実													
社会 経済 情勢 等	○子どもの学力の低下(ゆとり教育からの転換)														
	○土曜授業の実施と教育ボランティアの検討														
	○学校規模及び配置基準の見直し														
	前期 計画 の 主な 実績	4111◆幼児教育の充実	● 幼稚園での一時預かり事業の実施〔教〕												
		4112◆確かな学力の定着	● 学びのサポート学力向上事業〔教〕 ● ALT派遣事業〔教〕 ● 学校図書充実事業〔教〕 ● 基礎学力向上事業(少人数授業の実施)〔教〕												
4113◆豊かな心と体の育成		● いじめ不登校対策事業(相談員、SC、生徒指導協力員、スクール相談ネットワーク、ふれあい教室指導員等の配置等)〔教〕 ● 特別支援教育充実事業(校内特別支援委員会の設置による子どもの情報の共有化、及び介助員、支援員、地特別支援教育巡回コーディネーターの配置)〔教〕													
4114◆信頼に応える学校づくり		● 開かれた学校づくり推進事業〔教〕													
4115◆学校施設の整備、充実		● 小・中学校施設の天井等落下防止対策〔教〕 ● 朝上小学校プール、及び八風中学校武道館の改築事業〔教〕													
アンケート 調査 結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">4-1-1</div> </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>調査結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.25</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.21</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.23</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.16</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.27</td> </tr> </tbody> </table>			年度	調査結果	H23	3.25	H24	3.21	H25	3.23	H26	3.16	H27	3.27
年度	調査結果														
H23	3.25														
H24	3.21														
H25	3.23														
H26	3.16														
H27	3.27														
見直し 視点	<p>■ 中学生の学力及び学習意欲の向上を図るとともに、地域の高校生や大学生、大人から地域の自然や文化等を学ぶことで、地域のことや地域とのつながり等を大切に思う心の育成を図ることが求められる。</p> <p>■ いじめ等の問題や不登校への未然防止の取組として、学級満足度調査や各種アンケート等を活用したり、教育相談の充実に努めたりすることで、早急な対応に努めることが求められる。</p> <p>■ 地域の状況に応じた開かれた学校づくりを一層促進するため、これまで培ってきた地域との連携体制を持続していくことが求められる。</p> <p>■ 老朽化した学校施設の整備に加え、安全で快適な学習環境を向上させるため、教室へのエアコン設置などを進めていくことが求められている。</p> <p>■ 学校規模や配置基準が見直されるなか、児童生徒数の将来動向を踏まえて、規模の適正化を図っていくことが求められる。</p>														

項目名		4-1-2 みんなで取り組む青少年育成施策の推進													
社会経済情勢等	○家庭・地域における教育力の低下 ○放課後子どもプラン(放課後子ども教室と学童保育の連携)の推進														
	前期計画の主な実績	4121◆家庭における教育力の向上	●各幼保園の参観日に保護者を対象とした家庭教育講座・講演会等を各幼保園と連携して実施〔教〕												
	4122◆地域における青少年育成活動の促進	●放課後子ども教室の試行実施〔教〕 ●「こどもをまもるいえ」の新規登録、更新〔教〕 ●町子連・町民会議が連携して青少年健全育成講演会、家庭教育講演会を開催〔教〕													
	4123◆有害情報対策の推進	●立入調査員による書店やインターネットカフェ等への立入調査の実施〔教〕													
4124◆青少年の活動機会の充実	●町子連活動等の団体活動を通じた指導者及びジュニアリーダーの養成〔教〕														
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">4-1-2</div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果 (4-1-2)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.00</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.07</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.04</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.06</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.06</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	スコア	H23	3.00	H24	3.07	H25	3.04	H26	3.06	H27	3.06
年度	スコア														
H23	3.00														
H24	3.07														
H25	3.04														
H26	3.06														
H27	3.06														
見直し視点	<p>■地域住民の連帯感の希薄化、核家族化の進行や少子化等を背景として、家庭の悩みを抱えた子どもや社会的に自立できない青年、子育てに自信がないと感じる親が増加傾向にある。青少年の豊かな感受性・創造性を養い、社会の一員としての責任と役割を自覚したうえでの自立を促すためには、家庭・地域・学校や関係団体が連携し、青少年育成のための健全な社会環境づくりに努めることが必要である。</p>														

項目名		4-2-1 生涯学習施策の推進													
社会経済情勢等	○高齢化の一層の進行														
前期計画の主な実績	4211◆生涯学習機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● ソーシャルメディア講座の開設など、各世代の学習課題や生活課題に応じた公民館講座・教室の開設〔教〕 ● 住民に対する学習情報の提供〔教〕 													
	4212◆自主的な生涯学習活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種講座・講演会の開催、自主サークルグループの育成支援〔教〕 ● 日頃の学習の成果を発表できる場の提供〔教〕 													
	4213◆生涯学習施設の整備、充実	● 生涯学習施設としての町民センターのバリアフリー化〔教〕													
	4214◆図書館運営の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校図書館への司書派遣〔図〕 ● 図書館における読み聞かせイベント等の実施〔図〕 													
アンケート調査結果	4-2-1	<table border="1"> <caption>アンケート調査結果 (4-2-1)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.47</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.47</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.40</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.38</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.42</td> </tr> </tbody> </table>		年度	評価	H23	3.47	H24	3.47	H25	3.40	H26	3.38	H27	3.42
年度	評価														
H23	3.47														
H24	3.47														
H25	3.40														
H26	3.38														
H27	3.42														
見直し視点	<p>■ 人間関係が希薄になり、何かを始めたいと思ってもそれを具体的な活動に結びつけることが難しくなっている。学びあい・教えあう場としての学習機会の充実に努めるとともに、生涯学習情報の積極的な提供により、興味のあるものを見つけやすい、参加しやすい環境を整備することが大切である。</p>														

項目名		4-2-2 生涯スポーツの振興													
社会経済情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○東京オリンピック・パラリンピック、三重国体の開催 ○スポーツ基本法の施行 ○三重県スポーツ推進条例の施行 														
	前期計画の主な実績	4221◆スポーツ・レクリエーションの普及	<ul style="list-style-type: none"> ●ニュースポーツの普及、スポーツに親しむ環境づくりに向け、スポーツ推進委員会を中心にした町北部地域での親子運動教室の開催〔教〕 ●かもしかハーフマラソン、ヒルクライムチャレンジ、燈火祭など、町を挙げたスポーツ・レクリエーション行事に対する支援〔教〕 												
		4222◆総合型地域スポーツクラブの支援	<ul style="list-style-type: none"> ●総合型スポーツクラブ(元気アップこもの)に対するスポーツ教室開催等に係る運営面での支援〔教〕 												
		4223◆スポーツ団体や指導者の育成、支援	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ活動に取り組む団体に対する運営支援業務のスポーツ・文化振興会への委託〔教〕 ●体育協会への大会開催支援〔教〕 ●スポーツ少年団への活動支援〔教〕 												
4224◆スポーツ施設の整備、充実		<ul style="list-style-type: none"> ●体育センターの大規模改修工事の実施〔教〕 ●大羽根サッカー場の改修(人工芝グラウンドの整備)〔教〕 ●大羽根運動公園内(東、中)のトイレ修繕工事、旧管理棟の修繕工事の実施〔教〕 													
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">4-2-2</div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果 (4-2-2)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.38</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.33</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.33</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.27</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.28</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	評価	H23	3.38	H24	3.33	H25	3.33	H26	3.27	H27	3.28
年度	評価														
H23	3.38														
H24	3.33														
H25	3.33														
H26	3.27														
H27	3.28														
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■東京オリンピック・パラリンピック、三重国体の開催が決定しており、町のアピールポイント(自然環境、温泉等)を生かし、町民の機運を高めるとともに、スポーツ施設の整備やスポーツを通じた人材育成などが必要である。また、全国高校総体、三重国体での競技開催地として、各種団体などで構成する実行委員会等と協働し、計画的に準備を進める必要がある。 ■少子化により子どもの数が減少する中、子どもの体力・運動能力の二極化が社会問題化しており、子どもたちがスポーツや運動に親しむ機会の提供、環境整備が必要である。また、スポーツを通して、障がい者、高齢者の社会参画が広がるよう、日常的にスポーツに親しめる環境づくりが必要である。 														

項目名		4-2-3 豊かな文化の継承と創造												
社会経済情勢等	○文化芸術の振興に係る基本的な方針(第三次)の制定													
	4231◆芸術文化に触れる機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● NPO 法人スポーツ・文化振興会と連携を図り、文化講演会やコンサート等を開催〔教〕 ● プロの音楽家が学校に出張して授業を行うアウトリーチを実施〔教〕 												
前期計画の主な実績	4232◆芸術文化活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● よもやま歴史サークル等の自主サークルグループの育成・支援〔教〕 ● 日頃の学習成果を発表できる機会の提供〔教〕 ● 町民センターホールにて講演会や発表会の開催〔教〕 												
	4233◆芸術文化活動の拠点整備	● 文化活動の発表、創造の場として町民センターホールやコミュニティセンター、図書館等の活用〔教〕												
	4234◆歴史的・文化的資産の保護、活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 菰野町伝統文化体験教室(礼儀作法や着物の着付け、組紐体験)の実施〔教〕 ● 文化庁伝統文化親子教室(親子将棋教室)の実施〔教〕 ● 国・県・町指定の文化財保持団体等に管理・保護・保存のための補助金の交付〔教〕 ● NPO 法人菰野町スポーツ・文化振興会によるボランティアガイド養成講座の実施〔教〕 ● 図書館2階の郷土資料コーナーにおける郷土資料の展示〔教〕 ● 国指定天然記念物「田光のシデコブシ及び湿地植物群落」の公有化(用地買収)に向けた保存管理計画の策定〔教〕 												
	アンケート調査結果	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">4-2-3</div> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>アンケート調査結果 (4-2-3)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3.31</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.25</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.24</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.26</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.25</td> </tr> </tbody> </table>		年度	評価	H23	3.31	H24	3.25	H25	3.24	H26	3.26	H27
年度	評価													
H23	3.31													
H24	3.25													
H25	3.24													
H26	3.26													
H27	3.25													
見直し視点	<p>■ 地域における町民主体の文化活動を幅広く支援していくとともに、広報活動を行ううえで施設間の連携やメディアなどを活用した積極的な情報発信に努める必要がある。</p>													

項目名		5-1-1 まちの魅力を活かした観光の振興													
社会経済情勢等	<p>○外国人旅行者が1000万人を突破（2015年は2000万人に迫る見込み）</p> <p>○着地型観光の進展</p> <p>○「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による雇用の場づくり</p> <p>○昇龍道プロジェクトの立ち上げ（中部圏の広域観光ルート）</p>														
	前期計画の主な実績	5111◆地域資源の活用による魅力の創造、発信	<ul style="list-style-type: none"> ●農商工連携による6次産業化の推進〔観〕 ●関取米を地域産業資源に登録〔観〕 ●町産品による食の観光推進事業としての「まこもナイト」による地場農産物の県外への情報発信〔観〕 ●外部視点による地域資源発掘のためのフィールドワークの実施〔観〕 ●湯の山温泉オリジナル商品（僧兵味噌、僧兵鍋など）の開発〔観〕 												
		5112◆交通対策、景観等の基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ●湯の山温泉街の渋滞対策のためのシャトルバスの実証検証〔観〕 ●旧鈴鹿スカイライン料金所敷地を活用した駐車場の整備〔観〕 ●住民参加による景観整備活動（芝桜、ひまわり畑、コスモス畑等）〔観〕 ●歴史街道資源整備事業による登山道、名所案内標識等の整備〔観〕 												
		5113◆もてなしの向上	<ul style="list-style-type: none"> ●湯の山温泉サイン整備工事（外国語併記）〔観〕 ●ユニバーサルトイレの設置促進〔観〕 ●観光パンフレット等の作成〔観〕 ●まるごと菰野、新聞掲載等広告宣伝〔観〕 ●SNSを活用した情報発信〔観〕 												
5114◆広域観光の推進		<ul style="list-style-type: none"> ●北伊勢広域観光推進協議会による「花と食の回廊スタンプラリー」の実施〔観〕 ●無限∞会議等による情報共有、広域連携〔観〕 													
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">5-1-1</div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果 (5-1-1)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>2.82</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.04</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2.97</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2.98</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2.88</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	評価	H23	2.82	H24	3.04	H25	2.97	H26	2.98	H27	2.88
年度	評価														
H23	2.82														
H24	3.04														
H25	2.97														
H26	2.98														
H27	2.88														

- 観光需要の多様化に伴い、農業体験、自然学習、スポーツイベント等と他産業との連携をさせ着地型観光の創出を誘導することが求められる。
- 菰野富士周辺の一體的な整備による新たな観光名所づくりを進めることが求められる。
- 湯の山温泉地域整備可能性調査を行い、湯の山温泉地域の渋滞対策、災害発生時の避難路などの確保などを検討し、安全で安心して訪れることのできる地域づくりを進めることが求められる。さらに、開湯1300年を迎える湯の山温泉を魅力あるものにするために、温泉効能のさらなる有効活用や、健康食材の活用などにより、健康づくりを通じた観光振興を進めることが求められる。
- 民間事業者と連携してWifiスポットを整備するなど、インバウンド(外国人観光客)への対応を図るとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、観光プロモーションの強化や、旅行業界のノウハウを活用し、宿泊施設者、観光事業者の支援を行い、更なるインバウンドの取組を進めることが求められる。

項目名		5-2-1 持続的な農林業の振興													
社会経済情勢等	○TPPの影響		○6次産業化の促進												
	○農業者の高齢化		○「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による雇用の場づくり												
前期計画の主な実績	○耕作放棄地の増加、獣害の増加		○「攻めの農林水産業」に向けた政策												
	○食糧自給率の低迷														
	○社会資本の長寿命化対策														
	5211◆安定した営農体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●新規認定就農者、認定農業者の認定による地域の担い手の確保〔観〕 ●集落営農組織の立ち上げ(音羽)〔観〕 													
	5212◆産地化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●「仲間と共に頑張る農家応援事業」による6次産業化支援〔観〕 ●農地維持、資源向上活動組織の立ち上げ支援〔観〕 ●高校や大学などのプロデュースによる加工、情報発信の実施〔観〕 ●ふるさと館の内装改修による地場産野菜の販売促進〔観〕 ●「まこもの里」の運営による地場産野菜の消費拡大、PR〔観〕 													
	5213◆地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食における地場農産物の提供〔観、教、子〕 ●地元産の食材を活用した、地産地消における食育事業実施〔健〕 ●まこも、稲の植え付けなどの農業体験の実施〔観、子〕 													
5214◆農地、農村環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ●農地・水保全管理支払交付金の仕組みが法制化され、多面的機能支払制度による農業環境の保全〔観〕 														
5215◆有害鳥獣対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●地域ぐるみの有害鳥獣追い払いの実施〔観〕 ●猟友会による有害鳥獣の捕獲支援〔観〕 ●大量捕獲システムの設置支援〔観〕 														
5216◆森林資源の管理、活用	<ul style="list-style-type: none"> ●森林税を活用した補助の実施〔観〕 ●「菟野町木質バイオマス利活用推進協議会」の設置〔観〕 														
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">5-2-1</div> </div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果 (5-2-1)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>2.74</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>2.87</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2.84</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2.80</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2.78</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	評価	H23	2.74	H24	2.87	H25	2.84	H26	2.80	H27	2.78
年度	評価														
H23	2.74														
H24	2.87														
H25	2.84														
H26	2.80														
H27	2.78														

- 満足度が低下傾向にあることは、TPP などの趨勢も含めた、農林業の将来に対する不安が根底にあると考えられることから、将来に向けて農林業を維持していくための展望を示すことが求められる。
- 宿泊施設における地場農産物活用の推進、宿泊客の農業体験、収穫体験など、農商工連携と食の観光を更に展開するためのしきみを検討することが求められる。
- 子どもたちが「食」に関心を持ち、「食」を通じて健全な心身が育まれるよう地域の「食」への理解を深める教育や交流の機会を持つことが必要である。
- 多面的機能支払制度を活用していない組織、農業施設の長寿命化に取り組んでいない組織に対して情報交換を行い事業の推進を図ることが求められる。
- 有害鳥獣の捕獲数の増大により捕獲後の処理を検討する必要がある(ジビエ、焼却処分など)。
- 森林所有者、林業施業者、地域住民などと連携し森林資源の有効活用を検討し、森林資源によるエネルギーと経済の地域内循環システムを構築することが求められる。

項目名		5-2-2 活力を生み出す商工業の振興													
社会経済情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ○非正規雇用の増加 ○鉱工業生産指数等の良化 ○「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による雇用の場づくり 														
	5221◆ニーズに合った商業の展開	<ul style="list-style-type: none"> ●湯の山温泉街の空き店舗を利用した開業支援〔観光〕 													
	5222◆商工業経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●商工会運営補助〔観〕 ●スーパープレミアム商品券発行事業補助〔観〕 ●商業近代化促進事業補助〔観〕 ●小規模事業者資金利子補給〔観〕 ●小規模事業者資金保証料補給〔観〕 ●萬古焼コンペ補助〔観〕 ●萬古焼技術者育成研修補助〔観〕 													
	5223◆企業立地の支援	<ul style="list-style-type: none"> ●IC 周辺の土地利用方針に基づく湯の山温泉の活性化検討〔観〕 ●北勢地域みえ中小企業・小規模企業振興推進協議会による情報共有、取組支援〔観〕 													
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">5-2-2</div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>アンケート調査結果 (5-2-2)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>2.72</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>2.80</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2.82</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2.81</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2.78</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	スコア	H23	2.72	H24	2.80	H25	2.82	H26	2.81	H27	2.78
年度	スコア														
H23	2.72														
H24	2.80														
H25	2.82														
H26	2.81														
H27	2.78														
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■消費者の満足度を高める商業の展開を図るため、空き店舗の利活用に向けた方策を検討することが求められる。 ■雇用の創出に向けた優良企業の立地を促進するための方策を検討することが求められる。 														

項目名		6-1-1 みんなで取り組む住民自治のまちづくり													
社会経済情勢等	○自治会加入率の低下傾向 ○団塊の世代の地域回帰 ○NPO 法人制度の改正														
	6111 ◆コミュニティ意識の向上	● 地区行事等運営交付金の交付〔総〕													
	6112 ◆住民自治活動との連携	● 区長会・区長役員会の開催〔総〕 ● 区長補助金・用務員補助金の交付〔総〕													
	6113 ◆ボランティア・NPO 活動との連携	● 菰野町活性化サミットの開催〔企〕 ● 地域づくり支援員の派遣に関する要綱の作成による、地域活動団体のレベルアップに対する支援体制を整備〔企〕													
6114 ◆自治活動の環境整備	● 地縁団体の法人化を目指す団体(区)への対応(役員等への支援、住民に対する制度の説明等)〔総〕														
前期計画の主な実績															
アンケート調査結果	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">6-1-1</div> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>アンケート調査結果 (6-1-1)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>2.86</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.07</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.03</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2.99</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2.97</td> </tr> </tbody> </table>			年度	スコア	H23	2.86	H24	3.07	H25	3.03	H26	2.99	H27	2.97
	年度	スコア													
H23	2.86														
H24	3.07														
H25	3.03														
H26	2.99														
H27	2.97														
見直し視点	<p>■ 団塊の世代が定年退職する時期が到来し、余暇を地域活動に利用するよう方向付けていくことが必要になってくると思われる。</p> <p>■ 各区におけるコミュニティ意識、住民自治意識を向上させるため、菰野町としては、補助金の交付を主とし、必要ときに支援を行う等、最小限の介入に留めておくことが求められる。</p> <p>■ 町内でもモデル的に展開されている地域住民自治の取組が他地域にも広がるよう、情報提供や地域間での情報交換の機会づくりなどを進めることが求められる。</p>														

項目名		6-1-2 情報共有の推進													
社会経済情勢等	<p>○スマートフォンの普及、SNS サービス等の普及</p> <p>○情報セキュリティへの対応の必要性</p>														
	前期計画の主な実績	6121◆広報活動の充実	● 菟野町公式Facebook, 公式Twitterの運用を開始〔企〕												
		6122◆情報公開の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 従前のセキュリティポリシーを「菟野町情報セキュリティポリシー管理要綱」として整理〔企〕 ● 情報公開請求権者の範囲を「何人も」に改正〔総〕 ● 社会保障・税番号制度の施行開始に備えた個人情報保護条例の改正〔企、総〕 												
6123◆住民意向の把握		<ul style="list-style-type: none"> ● 町政モニター会議の実施〔企〕 ● 毎年度町民アンケートを実施〔企〕 													
アンケート調査結果	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">6-1-2</div> <table border="1" style="margin-left: 10px;"> <caption>アンケート調査結果 (6-1-2)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>2.78</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3.18</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.12</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3.08</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	スコア	H23	2.78	H24	3.18	H25	3.10	H26	3.12	H27	3.08
年度	スコア														
H23	2.78														
H24	3.18														
H25	3.10														
H26	3.12														
H27	3.08														
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ スマートフォンの普及、SNS サービス等の普及に伴い、多チャンネル化による広報の充実が求められる。 ■ 社会保障・税番号制度関連法の施行に伴い、行政における情報管理体制のさらなる厳格化が求められる。従前の個人情報の取り扱い規程に加え、新たに特定個人情報の運用管理に関する規定を設ける等により、特定個人情報の確実な保護に努めなければならない。 ■ 公文書の管理状況については、適正な管理が必要であるが、その管理については課によってばらつきがあるため、管理体制の見直しが必要である。 														

項目名		6-2-1 効率的で責任ある財政運営													
社会経済情勢等	<p>○地方財政の硬直化傾向</p> <p>○統一的基準による地方公会計制度</p>														
前期計画の主な実績	6211◆財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●課税客体的確な把握(家屋評価調書等のデータ化及び検索システムの構築)[税] ●収納率の向上(コンビニエンスストア納付の導入、滞納整理、県下一斉に個人住民税の特別徴収を推進)[税] ●税金の使い道やしくみの広報[税] ●ふるさと納税制度の運用[企] ●クレジット納付を可能にするためのシステムの導入[企] ●不用公有財産のインターネットオークションによる売却の実施[財] 													
	6212◆財政運営の健全化	<ul style="list-style-type: none"> ●推進計画の策定を中期的財政見通しと一体的に策定[企] ●人件費などすべての経費と財源を意識するとともに、事業の評価等を踏まえた経費の縮減を実施[財] ●地方公会計制度の検討[財] ●公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うための基本方針の策定[財] 													
アンケート調査結果	6-2-1	<table border="1"> <caption>アンケート調査結果 (6-2-1)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スコア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>2.76</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>2.95</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2.91</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2.83</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2.94</td> </tr> </tbody> </table>		年度	スコア	H23	2.76	H24	2.95	H25	2.91	H26	2.83	H27	2.94
年度	スコア														
H23	2.76														
H24	2.95														
H25	2.91														
H26	2.83														
H27	2.94														
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■個人住民税課税事務が一定時期に集中するとともに、特別徴収義務者の事業所も増加し、事務が増大してきていることから、課税事務の効率化を図る必要がある。 ■地方公会計制度を研究する中で、事務事業には税を投入しているということを職員に意識させるとともに、コスト意識を高めるための職員研修の開催や、行政コストの分析等における地方公会計制度導入により得られる情報の活用等について検討していくことが求められる。 ■基本方針の下で公共施設等のマネジメントを行い、公共施設の更新等にかかる将来負担を見通すとともに、継続して地方公会計制度の活用方法等を検討していく中で、適切な資産管理といった視点や予算編成への活用といった視点から財政運営に活用するなど、限られた財源と資産を賢く使っていく方法を検討する必要がある。 														

項目名		6-2-2 信頼される行政運営													
社会 経済 情勢等	○マイナンバー制度の導入														
	前期計画の主な実績	6221◆行政運営の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 推進計画の策定を中期的財政見通しと一体的に策定〔企〕 ● 総合計画の進行管理のための菰野町町政円卓会議の設置〔企〕 ● 町民アンケート結果の住民満足度による施策の効果検証〔企〕 ● ネットワーク機器更新によるセキュリティ対策を充実〔企〕 												
		6222◆定員管理と組織機構の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門性の要求に応えるための人材育成〔総〕 ● 派遣職員の補充として前倒し採用を実施することによる定員維持〔総〕 ● 学校教育課と社会教育課を教育課に統合〔総〕 ● 地域連携を含めた町独自の手づくり研修の実施〔総〕 ● 菰野町地域活性化対策委員会(木曜クラブ)におけるIC設置を見据えて観光を中心とした取組可能性を検討〔企〕 												
		6223◆窓口サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 「障がい者対応」「高齢者対応」等に関する接遇研修の実施〔総〕 ● 新規採用職員に対する接遇に関する研修の実施〔総〕 												
		6224◆危機管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 												
		6225◆広域連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 四日市地区広域市町村圏協議会での先進地視察(中枢拠点都市構想の検討)〔企〕 ● 鈴鹿山麓∞会議の開催(県境をまたいだ連携の検討)〔企〕 												
アンケート調査結果	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">6-2-2</div> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>アンケート調査結果 (6-2-2)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>2.79</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>2.90</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2.87</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2.86</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2.90</td> </tr> </tbody> </table>			年度	評価値	H23	2.79	H24	2.90	H25	2.87	H26	2.86	H27	2.90
年度	評価値														
H23	2.79														
H24	2.90														
H25	2.87														
H26	2.86														
H27	2.90														
見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報漏えい事案が頻発しているため、常に最新のセキュリティ対策を研究、検討する必要がある。 ■ 平成 28 年 4 月からの人事評価制度の施行により、職員個々の人事管理が可能となることから、より一層の適材適所の人事配置など、組織機構の適正化を図ることが求められる。 ■ 「ストレスチェック制度」が平成 28 年度から義務化となることから、産業医を含めた組織的な未然の「気づき」と「ラインケア」を実施し、業務配分・人事配置・機構の見直しなどを適宜実施することが求められる。 ■ 行政需要が複雑、多様化し、部課横断的な課題の共有と対応がますます重要になってくる中で、戦略チームの設置や組織機構のあり方の見直しといったものが必要である。 ■ 広域連携のあり方については、国民健康保険の広域化など、一定の潮流ができた分野ごとに検討を重ねていくという現実的な方法で進めることが重要である。 														

